

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2024(令和6)年
6月末発行

●和歌山県工業技術センターで見学・交流会を開催しました ～関西広域連合域内の公設試と関係機関との連携を進めています～

関西広域産業共創プラットフォーム（以下、「広域PF」という。）では、関西広域連合域内の11の公設試・連携機関との連携の促進、また、域内公設試の若手職員を中心に知見を深めていただくことを目的として、公設試の見学・交流会を開催しています。今年度1回目の見学・交流会を、6月21日に和歌山県工業技術センターにおいて開催しました。

和歌山ならではの取組支援事例や、設備機器を見学しながら、参加者と担当研究員との意見交換を行いました。和歌山は蚊取り線香発祥の地で、県内の多くの殺虫剤メーカーの支援を行っていること、ハッサクの果皮に含まれる成分が熱中症対策に効果的であるとの先行研究シーズに基づいた商品開発をめざすハッサクプロジェクトなどの紹介をいただき、参加された公設試職員の皆様も熱心に聞かれていました。

さらに、支援機関である（公財）わかやま産業振興財団、INPIT（和歌山県知財総合支援窓口）から、支援内容について紹介していただきました。

今年度は、令和7年1月に徳島県立工業技術センターにおいて、2回目の見学会・交流会を予定しており、公設試と関係機関が密に連携した域内企業の支援の取組をさらに進めてまいり所存ですので、次回も多数ご参加いただきますようお願いいたします。

和歌山県工業技術センター 細田所長様よりご挨拶



見学会終了後の集合写真



～事務局便り～

スマホで「6月」と入力すると、「梅雨、紫陽花、ボーナス」などでてきます。今年の梅雨入りは例年よりも相当に遅かったですね。四季の変化が年々あいまいになって来ている感じがします。砂漠での豪雨や、これまで台風などと無縁な地域での水害など、いわゆる異常気象のニュースを頻繁にききます。それでも、紫陽花は今年も元気に咲きました。植物の「力強さと誠実さ」を感じます。

もう一つのキーワードはボーナスです。経済力を単純に言えば「働く人の数」×「収入」ですから、これは重要です。昨今の円安進行でドル換算での収入は増えていないとのことですが、国内に限ればお金の巡りが良くなり、観光客も含めて人の動きも活発になってきていることを実感します。

先日開催された和歌山工業技術センターでの交流会には、70名超の参加者がありました。見学会や自由な意見交換会など充実した機会を持つことができ、PF事業の進展と共に、日々連帯感が強固になってきていると実感します。このPF連帯力を強みとしつつ、梅雨の恵みと紫陽花の力強さをもらいながら、持続可能で健全な産業の発展を実現するために、事務局一同、より一層頑張りたいと思います。

材料分析セミナーのご案内

日時 令和6年 7月12日(金) 14:00～16:00

型式 現地とオンラインのハイブリッド開催

場所 和歌山県工業技術センター

内容 「ガスバリア試験装置とMOCON法の紹介」
「ガスバリアの測定する前に知っておきたい知識など」
「MOCON社ガスバリア試験装置等分析装置の紹介」

和歌山県工業技術センターでは、保有機器や基盤技術の充実と共に分析技術に関する情報発信を行っております。今回は素材や材料のガスバリア性評価手法についての最新技術に関するセミナーを開催いたします。ご興味のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。



詳しくはこちら↑

スマートものづくりセミナーのご案内

日時 令和6年 7月19日(金) 13:30～16:00

場所 和歌山県工業技術センター ※現地開催のみ

内容 「量子化学計算を用いた金属錯体の酸化還元特性の評価」
「マテリアルズインフォマティクスの実践に向けた実用的機械学習モデル作成」
「有機合成における機械学習を利用した条件最適化検討」

和歌山県工業技術センターでは、企業の皆様の開発活動支援に向けて、計算機シミュレーション及び機械学習に関連したソフトウェアの導入や活用を進めています。今回、当所での活用事例に加えて、兵庫県立工業技術センターでの活用事例もご紹介させていただきます。



詳しくはこちら↑

公設試初の受賞

溶接学会マイクロ接合優秀研究賞

(地独) 京都市産業技術研究所

2024年5月24日、材料・素材技術グループの小濱和之が「2023年度 マイクロ接合優秀研究賞」を受賞しました。毎年20件余の研究発表の中から1～2件が選考されます。1995年度から続くこの賞を公設試が受賞するのは初となります。

受賞内容は、セラミックスどうしを接合する材料（フィラー）の研究です。接合時には低い温度で融け、接合後には高い温度でも融けなくなるという、新機能を有したフィラーの開発を行っています。研究内容の一部は京都市産技研Youtubeの動画や過去の広報誌でも解説しています。



※詳しくは以下をご覧ください

<https://www.youtube.com/watch?v=LK7uvmKM95E>
<https://tc-kyoto.or.jp/app/uploads/2023/09/chienowa27s.pdf>

令和6年度研究成果発表会を開催します

京都府中小企業技術センター

京都府中小企業技術センターが取り組んだ研究の成果を分かりやすく発表し、引き続き研究成果ポスターセッションでの意見交換などを通じて交流していただきます。

【日程】 令和6年7月25日(木) 10:00～12:00

【会場】 京都府産業支援センター 5階 研修室及び交流サロン
(アクセス: JR嵯峨野線丹波口駅から西に徒歩5分)

※研究成果発表会の様子については動画コンテンツにて配信、HPから視聴いただけます。<https://www.kptc.jp/>
(配信期間: 8月1日(木)～30日(金))

【参加費】 無料

【定員】 60名(先着順)

【詳細・申込み】

<https://www.kptc.jp/seminar/2024happyou/>

※上記URLに申込ページのリンクがあります。

【共催】 京都府中小企業技術センター、京都府中小企業技術センター協会

【問合せ】 京都府中小企業技術センター企画連携課 企画連携係
TEL: 075-315-8635
E-mail: kikaku@kptc.jp

※本事業はKRPフェス2024の参加イベントです。他にも「技術イノベーションフォーラム」にて、ポスターセッション及び見学会を行います。詳しくは上述のHPのリンクからご覧ください。#公設試験研究機関ツアー

ガスクロマトグラフ質量分析システムを整備しました

(地独) 鳥取県産業技術センター

ガスクロマトグラフ質量分析システムは、液体や固体の試料を加熱して、揮発してくるガス成分を分離分析する装置です。試料性状や測定目的に応じて、試料へ加えられる加熱温度が異なる「ヘッドスペース分析システム」と「熱分解分析システム」があります。

非常に微量な成分を分析できるため、製品の不良分析で用いる既存設備(赤外分光光度計や電子顕微鏡)では原因がわからない場合に役立ちます。

ヘッドスペース分析システムは、揮発する化成品の臭い成分や残留溶剤の分析が可能です。また、熱分解システムは、塗料やプラスチック製品の組成分析や不良解析のほか、EU RoHS指令の規制対象物質であるフタル酸エステルのスクリーニング分析が可能です。



※2023年度JKA補助事業で導入

※機器の詳細については以下をご覧ください。

熱分解装置使用 <https://tiit.or.jp/search/337/>

ヘッドスペース使用 <https://tiit.or.jp/search/335/>

液体注入法使用 <https://tiit.or.jp/search/336/>

